

医療従事者の需給に関する検討会 第26回 医師需給分科会	資料 1-3
平成30年12月26日	

3. 新規開業者等への情報提供について

3. 新規開業者等への情報提供について

【背景・経緯】

- 可視化された情報を、新たに開業しようとしている医療関係者等が自主的な経営判断を行うに当たっての有益な情報として提供する。

【課題と論点】

- 新規開業者への情報提供にあたって、外来医師偏在指標を含めたデータをどのように活用するとよいか。また、情報の周知について、どのように行っていくことが有効であると考えられるか。
- その他、どのような情報が、新規開業を判断する際に有益であるか、これまで明らかにはされていないため、どのように工夫するとよいか。

3. 新規開業者等への情報提供について

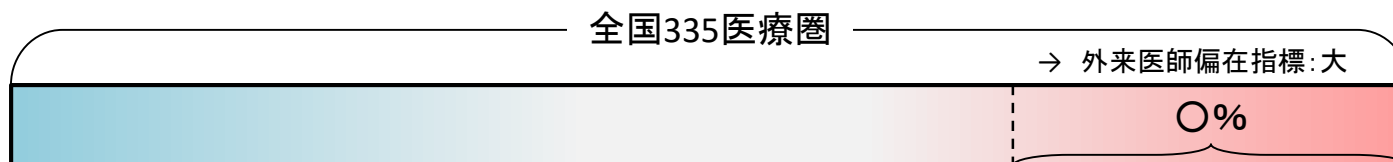
【対応(案)】

- 新たな医師偏在指標の活用方法を参考に、外来医師多数区域を設定し、都道府県等へ情報提供することとしてはどうか。
- 外来医師多数区域の設定については、都道府県のホームページ等で周知するなど、新規開業希望者等が容易にアクセスできる工夫を行ってはどうか。更に、様々な機会を捉えて、新規開業希望者等が情報を知ることができるよう取り組んではどうか。
- また、地理的情報の観点から、診療所・病院の所在等についてマッピングを行い、情報提供することとしてはどうか。

<外来医師多数区域の基本的な考え方>

- 二次医療圏ごとに、外来医師偏在指標を集計し、
 - ・ 上位〇%を外来医師多数区域と設定し、都道府県等に情報提供を行うことで、新規開業者等における自主的な行動変容を促し、偏在是正につなげていくことが必要ではないか。

(外来医師偏在指標における外来医師多数区域の設定イメージ)



3. 新規開業者等への情報提供について

【課題】

- 外来医師偏在指標や外来医師多数区域の設定に当たり、二次医療圏と市町村、いずれの単位で作成し情報提供を行うことが望ましいか。



【対応(案)】

- 以下の理由から、二次医療圏単位で可視化することとしてはどうか。
 - ・ 地域の外来医療提供体制の検討は、地域ごとの協議を踏まえて行われるべき。
 - ・ これまで医療計画の基本的な単位は二次医療圏としており、医療提供体制の検討は二次医療圏単位で行われてきている。こうしたものと整合性を確保する必要がある。
 - ・ また、外来機能の偏在の可視化に当たっては、市区町村単位では必要なデータを必ずしも把握することができず、正確に評価することができない。
- ただし、診療所、病院の所在等については、市区町村単位ごとにマッピングを行ったデータ等を都道府県に提供するなど、協議の参考にできるよう、市区町村単位の情報も活用できることとしてはどうか。